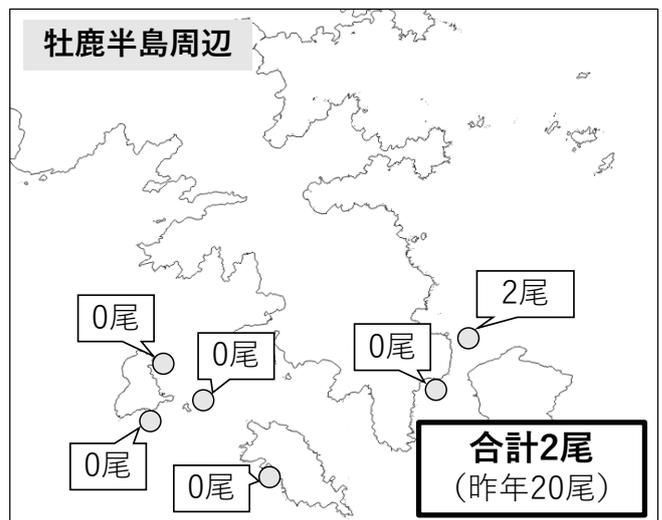
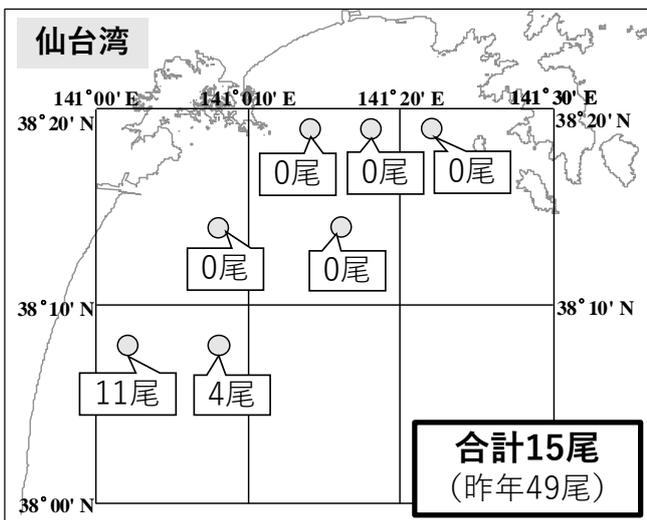




- ・令和6年1月31日及び2月7日に、仙台湾及び牡鹿半島周辺でイカナゴ仔稚魚調査を行いました。
- ・仙台湾で15尾（昨年49尾）、牡鹿半島周辺で2尾（昨年20尾）が採集され、昨年度の調査結果を下回り、かつ引き続き不漁年の水準となっています。
- ・黒潮系水が沿岸に波及している影響で、表面水温は平均14.1℃（10.9～16.9℃）と例年に比べ非常に高くなっています（昨年平均9.8℃、一昨年平均7.9℃）。
- ・採集されたイカナゴの平均体長は6.7 mmと平年並みでした（2012～2022年の平均6.6 mm）。
- ・イカナゴのほか、ニシン目魚類のシラスが確認されました。
- ・次回の調査は3月上旬を予定しています。

【地点ごとのイカナゴ仔稚魚採集尾数】

※調査方法：丸稚ネット表層5分間曳網



●イカナゴ仔稚魚の分布密度の推移

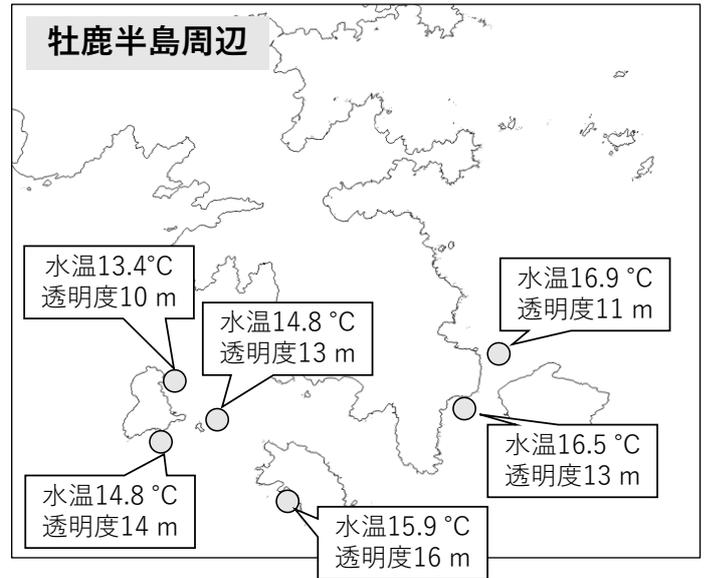
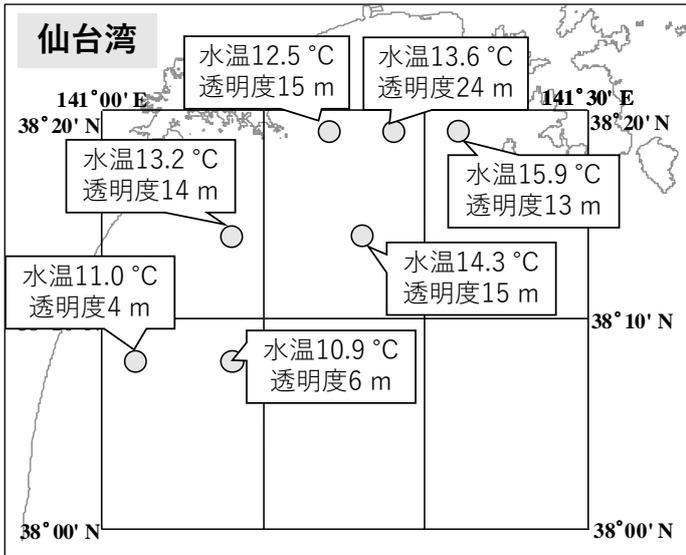
火光利用敷網漁獲量が激減した 2019 年以降を不漁年

とすると、今回の調査結果は、過去 5 年の不漁年と同程

度の水準となります（右図）。



●地点ごとの水温と透明度



●ニシン目魚類のシラスについて

今回の調査で合計 74 尾のシラスが採集され、

そのうち 17 尾がイカナゴ、57 尾がニシン目魚類

(マイワシの仲間) でした（右図）。



海況情報
はこちら
をチェック



気象庁
日別海面水温

海況予測システム
FRA-ROMSII
(水産研究・教育機構提供)



JAFIC会員サービス
(漁業者のみ、要会員登録)

